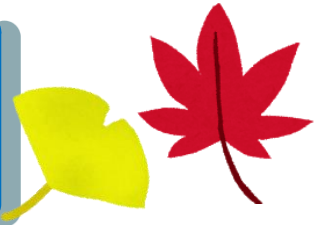




広島市食検だより

2016年11月 第33号



ウシの採血どこからとる？



と畜検査は、まず生きている状態のウシやブタを見て触って観察（生体検査）することから始まります。その際、必要があれば血をとって血液検査をします。

人は腕の血管から採血するのが一般的ですが、ウシはどこから採血するのでしょうか？

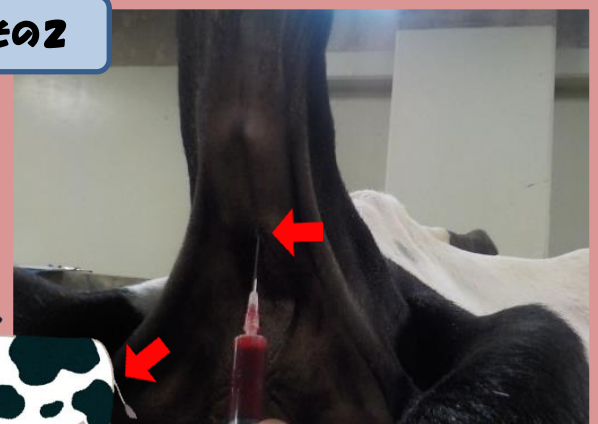
その1

人のように簡単に血をとらせてくれません。
おまけに毛で血管は見えません・・・



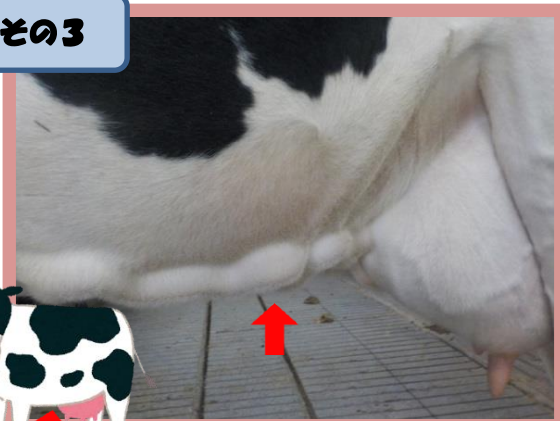
けいじょうみやく
首にある太い血管（頸静脈）
ウシの採血で一番よく使います。

その2



びじょうみやく
しっぽの裏にある血管（尾静脈）

その3



にゅうじょうみやく
乳房の近くにある血管（乳静脈）
ウシの状態によってはここから採血することもあります。

おまけ★注射の針★



ブタの採血にはウシよりも長い針を使用します。

それはブタの首の脂肪はとても厚いため、短い針だと血管にとどかないからです。



採血する際はウシやブタがあばれて、蹴られたり足を踏まれたりしそうなこともあり、常に危険が伴いますが、獣医師は安心・安全なお肉を食卓に届けるため日々頑張っています！

